

2021年7月9日  
損害保険ジャパン株式会社  
Tractable Ltd.

## 損保ジャパンとトラクタブル 自動車保険金支払業務のDXパートナーとして提携

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）と Tractable Ltd.（CEO：Alexandre Dalyac、以下「トラクタブル」）は、自動車保険金をお支払いする業務のデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」）を実現する戦略パートナーとして提携したことをお知らせします。

本提携により、AI自動見積システム（AI Estimating）を国内で初めて導入し、2021年10月からサービスを展開する予定です。

### 1. 提携の背景・目的

損保ジャパンは、中期経営計画（2021年度～2023年度）におけるDX施策として、事故が起きた際の自動車の損害額についてAIが画像から見積金額を自動算出するサービスの自社開発を進めてきました。

トラクタブルは、自動車事故や自然災害などにおける迅速な保険金支払いや損害復旧を可能にするAIソリューションを開発するイギリスの企業であり、欧米を始めとする世界各国の大手保険会社と協業しています。

このたび、トラクタブルの持つ最先端のAI技術を活用したソリューションが損保ジャパンのDX戦略に合致したことから、業務提携にいたりました。

### 2. AI自動見積システム（AI Estimating）の概要

#### （1）AI自動見積システム（AI Estimating）について

AI自動見積システム（AI Estimating）は、所定の方法で撮影した事故車両の画像をAIが解析し、修理金額を短時間で算出します。これにより、軽微な車両事故に遭われたお客さまは、修理をおこなうかの判断などを自動車整備工場に持ち込む前にご検討いただくことが可能です。

## (2) AI自動見積システムの利用イメージ



## (3) 今後の展開

現段階では、静止画像を用いて事故車両の損害額の算出を行いますが、今後は、スマートフォンを片手に自動車を一周して撮影した動画から、見積金額の自動算出を可能にします。これにより撮影方法はより簡単なものになり、事故発生から保険金支払いまでのスムーズな体験価値の向上と迅速で高精度な保険金支払いの実現を目指します。動画から自動車の損害額を算出するAI自動見積システムの実用化も国内初の試みであり、2022年度からの展開を目指しています。



## 3. 今後について

損保ジャパンは、事故に遭われたお客さまに一層の安心をお届けするため、今後もさまざまなデジタル技術を積極的に導入し、これまでにない革新的かつ高品質な事故対応サービスを提供していきます。

## 【ご参考】

会社名 : Tractable Ltd.

CEO : Alexandre Dalyac

設立 : 2014 年

本社所在地 : イギリス・ロンドン

URL : <https://tractable.ai/>

事業内容 : インシュアテックのランキング (Snor社) でも世界5位に選出され、グローバルAI企業100社 (CBインサイツ) の1社に選出されるなど、ディープラーニング技術に基づく最先端の画像解析技術と数億枚以上の画像データを用いたAIにより、あらゆる車種の画像から専門家同等の精度で査定する卓越した技術力を持っています。

以上